



野田中学校だより

学校教育目標

- ・志高く、学び考え実践する生徒
- ・心豊かで、認め合い高め合う生徒
- ・心身を鍛え、命を慈しむ生徒

生徒数281名、1年生98名、2年生88名、3年生95名

第8号 令和5年2月8日 校長 長井 正邦

「愛 ○ 心」を考える

～「唯一無二の母校・川越市立野田中学校」で生活すること～

ある企業の人事担当（入社試験の面接を担当する）方と話をする機会がありました。

採用面接の際に、「あなたは『母校』が好きですか？」という質問をするそうです。

その答えが「はい」という人を評価し、逆に「いいえ」という人には厳しい評価をするそうです。とくに、母校での経験に不平や不満を語る人は採用しないそうです。

そう判断する理由は、2つあるそうです。

一つには、『母校に愛着を持ってない人』は、入社してからも自分の会社を好きになってもらえないかもしれないから。

もう一つ、『母校が好きと答える人』は、だいたいの場合、その学生時代が充実していたと想像できるから。

以上の2つが主な理由なのだそうです。

この話を聞いて私は考えました。

人は、会社の為だけに働くわけではありませんし、プライベートをすべて犠牲にしてまで会社に尽くさなくてはいけないわけでもありません。しかし、同じ働くならば、自分の所属する会社をよりよくしたい、会社と共に自分自身も成長したいと考えることは間違いではないと思います。

また、何かにつけて、自分の周りに対して不平や不満を言う人がいますが、人は生きていくとたくさん課題や壁にぶつかります。年齢を重ねると、直面する課題や壁の数も増え、その困難さも増してきます。そんな時、まわりに対して不平や不満を口にして責任を転嫁するのではなく、自分が成長するための糧と捉えて、次への一步を踏み出すために取り組み、まずは自分から変わってみることを大切にされた方がよいと思います。「過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられる」のですから。

「母校が好き」ということは、「自分の母校を大切に思い、母校に誇り（プライド）を持つこと」＝「愛校心」であり、結局のところ「自分を大切にする」ことだと思います。

3年生は卒業まで残りわずかな日数になりました。2年生は修学旅行を終えるといよいよ「最高学年（最好学年）」になり、1年生も「先輩」になります。

皆さんの人生において、卒業する中学校（母校）は、たった一つ川越市立野田中学校です。この「唯一無二の母校・川越市立野田中学校」で生活することについてじっくり考えてみてください。期待しています。

(2/7 学校朝会 校長の言葉から)

2月の主な予定

2月 4日 (土)	立春
6日 (月)	生徒会専門委員会
7日 (火)	学校朝会
9日 (木)	県公立高校出願 (郵送)
10日 (金)	英語授業研究会 (1年生)
11日 (土)	建国記念の日 建国をしのび、国を愛する心を養う
13日 (月)	2年生短縮4時間
14日 (火)	修学旅行 (2年生)
15日 (水)	修学旅行 (2年生) 県公立高校志願先変更
16日 (木)	修学旅行 (2年生) 県公立高校志願先変更
17日 (金)	2年生短縮5時間
20日 (月)	学級の日 期末テスト前部活動中止 (28日・火まで)
21日 (火)	生徒朝会 質問・自主学習
22日 (水)	県公立学力検査 質問・自主学習
23日 (木)	天皇誕生日 天皇の誕生日を祝う
24日 (金)	県公立実技・面接 小中連絡会
27日 (月)	期末テスト 質問・自主学習
28日 (火)	期末テスト

※コロナウィルス感染症の拡大状況によって、予定が変更になる場合があります。

S教諭が赴任しました。

6月から欠員となっていた2年生の副担任に、1月16日付けでS教諭が赴任しました。よろしくお願ひいたします。

主な担当

- ・2年生副担任
- ・英語科 (2年生)
- ・美術部

学校保健委員会を開催しました!

1月16日(月)に、学校保健委員会を実施しました。当日は、PTA会長のM様、PTA本部役員、PTA環境保健委員の皆様にも出席いただき、本校の保健管理における事項について、協議等を行いました。

二部構成での実施として、第1部では、M養護教諭と生徒会保健委員から「本校の定期健康診断の結果報告」や「生徒アンケートを踏まえての委員会の取組(睡眠を中心に)」等の発表がありました。第2部では、埼玉ヤクルト販売株式会社のM様を講師にお招きして、「おなか元気教室～健康は元気な腸から～」と演題で講演をしていただきました。

御参会いただいた皆様に御礼申し上げます。



↑ 第1部 生徒会保健委員会による発表
第2部 講師の方による講演 ↓



健康観察の確実な実施をお願いします!

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等が流行しています。日々の健康観察を確実に行うようお願いいたします。